



2017年1月26日発行 会報第868号

今週のプログラム

(2017年1月26日 第868回例会)

米山奨学委員会

担当：小山 富夫 米山奨学委員長

次週のプログラム

(2017年2月2日 第869回例会)

卓話「縄文杉探訪

～4000年の時空を超えて～

担当：松田 親男 会員

第867回例会 (2017年1月19日) の記録

<会長の時間>

黒川彰夫会長

先週は、松本ガバナーの「職業奉仕月間に寄せて」を引用して職業奉仕について説明させて頂きました。その時、米国の職業奉仕月間の行事について紹介し、**The Four-Way Test** という語句が頻繁に出てくると申し上げました。そして、今日は地区から職業奉仕委員長の只井恒満(大阪西 RC)様にお話頂けることになりました。只井様は月信で「職業奉仕には概念の部分とクラブとして行う職業奉仕活動とでは相違点があるということを確認しましょう」と述べておられます。後程、よろしく願い致します。さらに、年初に話したことですが、昨年の暮れに東京のある大学教授が私のバッジを見て「ロータリークラブには『職業奉仕』と云うのがあるのですよね。先生たちの行っていることは正に職業奉仕ですね」と学会創設について労いの声をかけて下さり、嬉しかったことを申し上げました。3週連続で『職業奉仕』について述べております。

ところで、その学会の雑誌編集委員会が15日(日)に開催されるため、大雪を考慮して大切な新年互例会を中座して、午後9時頃の新幹線で東京に向かいました。定刻通り新大阪を出た“のぞみ”は関が原でノロノロ運転、名古屋には40分程度の遅れ。車内はほぼ満員でしたが、「雪だからしょうがない」という雰囲気、あちらこちらで談笑も聞こえました。しばらく走ると豊橋で「雪下ろしのため停車致します」。30分ほど経って「前方の『こだま』3両が雪下ろしをしております」とアナウンス。「雪下ろしに30分かかります」、直後に「いや、70分かかります」。この頃には車内は静まり返っており、時々赤ちゃんの泣き声だけが響き渡っていました。「あの～、横浜への到着が70分遅れます」…車掌さんはしどろもどろ。「横浜、東京では在来線との連絡はないので、東京駅に休憩車両を用意しております」。そのうちに我等の車両の順番となり雪下ろし。ガシャガシャ車体に水をかけられ出発。雪下ろしには70分強かかりました。その後「あの～、70分ほど遅れて横浜に着きます」計算は無茶苦茶。ここで女性の車掌さんに交代「大変申し訳ありません。横浜、品川には1時間50分遅れとなり、東京には1時23分頃到着致します」やっとうとう東京。貴重な車掌さんの職業奉仕を経験しました。

<お客様>

ただい つねみつ
只井 恒満様 地区職業奉仕委員長 (大阪西ロータリークラブ)

<出席報告>

松田親男出席担当

会員数 (内出席免除会員 3 名) 22 名
本日の出席者数 (内出席免除会員 0 名) 15 名
本日の出席率 78.95 %
前々回 (1 月 5 日) の修正出席率 100%

<ロータリーソング>

全会員

♪それこそロータリー♪

<ピアノ演奏>

近藤美里さん

- 1 初水
- 2 ラスト・ワルツ
- 3 シェルブールの雨傘

<幹事報告>

木下健治幹事

1. ローターアクト第 2 回地区献血の案内が参りましたのでご協力いただける方は、登録用紙にご記入ください。
2. 2 月 25 日 (土) 開催の IM ロータリーデーへの出欠表を引き続き回覧しますのでご記入をよろしくお願い致します。
3. 2017 年 1 月 12 日 理事会議事録
ラオスの支援 (ラオス訪問時) について
(1) 山本加奈子さんに何がいかヒアリングする。金額は 20 万円で用途は自由。
(2) お花見例会について
親睦委員長、副委員長に一任する。旅行はなしで、曜日を変える可能性あり。
(3) 創立 20 周年実行委員会について
相原会員を委員長、チャーターメンバーを実行委員として協議する。
創立 20 周年準備積立金として、第 4 半期会費より 1 人 1 万円を 1 年間 (4 回) 合計 4 万円を徴収する。
4. 次週例会後、クラブ・アセンブリー活動報告を行いますので、各委員長は報告をお願い致します。

<表彰>

※ロータリー財団

第 7 回 マルチプルポールハリスフェロー 藤田 芳浩会員
第 1 回 メジャードナー 水島 洋会員

※米山記念奨学会

第 8 回 米山功労者 マルチプル 黒川 彰夫会長
第 12 回 米山功労クラブ 千里メイプルロータリークラブ

職業奉仕月間卓話「ロータリーの職業奉仕」



地区職業奉仕委員長
ただい つねみつ
只井 恒満様 (大阪西 RC)

奉仕の理念

奉仕は相手のニーズを満たすことで、ニーズとは、その人に本当に必要なものである。その人の欲求のみを満たす行為はニーズに応えたとは言えず、どうしてあげることが本当に相手にとって為になるのかを考えなければならない。

ロータリーの2大標語「超我の奉仕」

「超我の奉仕」は相手の幸せは自分にとって喜びであるという自分の存在を認めていることにあり、自己犠牲や滅私奉公ではない。相手のニーズをさぐり、相手に思いやりをもって尽くすことがロータリーの理念である。

ロータリーの2大標語「他人の最も良く奉仕する者は最も多く報われる」

シェルドンは、当時の商いの世界の頹廃した中であっても、例外的に公明正大な経営方針を堅持している商人が結局において成功している事実を発見して、その理由を探究した結果、「他人の立場を考え、他人のためになるように尽くすこと」という結論に至ったと云われています。

入りて学び、出でて奉仕せよ

この言葉は、ロータリーの2大標語ではありませんが、自分自身がしっかりと奉仕の理念を理解して実践し、クラブに於いては仲間同士で切磋琢磨しながら学んで行く。さらには社会のために行動しなければならない事を説いており、ロータリアンの行動を端的に表した言葉であると言えます。

職業奉仕はロータリーの根幹

2008年にRI理事であった渡辺好政氏が国際協議会に於いて職業奉仕の重要性を説いた際に使用された「ロータリーの樹」の意味することは、先ずロータリー会員は、第一の奉仕であるクラブ奉仕で会員同士が互いを理解しあい、助け合い、親睦を深めることが大事で、その中で奉仕の理念を学び、ロータリーの目的をしっかりと認識して行動を行います。ロータリーの様々な活動をみのものであるものにするために、また奉仕の理念を実現させるために必要なものが職業奉仕であり、全ての会員はその理念を理解し実践することが重要でありロータリーの根幹をなすものです。

4つのテストとロータリアンの行動規範

ロータリアンの行動規範は、かつて「ロータリアンの職業奉仕宣言」と呼ばれていたものですが、退職した会員などに配慮して名称、内容等も変更され、現在では4項目のみが行動規範として記されています。ロータリーでは4つのテストと同様に、職業倫理を実践する上で、必要なものとして位置づけられています。

I serve

ロータリーでは、会員個人が奉仕の理念の実践を目的として行動することからI serveの考え方と言われています。一人一人の会員が、職業人として高潔で他の模範となるべき人間になるという姿を表わしていると言えます。

職業奉仕に関して規定変更点

昨年4月の規定審議会において、5大奉仕部門のうち、第2部門である職業奉仕についてのみ会員がとるべき行動が具体的に示されていないとして、これを改正すべきであるという提案が日本の2840地区(群馬県)より提出され、採択されました。これにより、会員はクラブの奉仕活動として地域社会に応えるための行動をすべきであることが示されたといえます。

自ら行う職業奉仕とクラブの奉仕活動

ロータリーの職業奉仕には会員が自分を律し、自分の事業を通じて行う職業奉仕とクラブとして行う地域社会を対象にした職業奉仕活動がありますが、「有償・無償」、「受益者」、「人づくり」という点で区別することで、その違いがはっきりとします。地域社会を対象にした職業奉仕活動は社会奉仕の意味合いの強い活動ということが分かります。

まとめ

職業奉仕(自分づくり)は、すべてのロータリー会員が実践しなければならない。

職業奉仕委員会は、会員や地域社会のニーズに応えるため、クラブとしての奉仕活動を行うことが期待されています。

<SAA報告> SAA補助 小山富夫会員

*スマイルボックス

黒川会長 東京は遠かった！！
水本会員 只井様、本日は宜しくお願ひします。
只井委員長 本日卓話です。
コメント無 西本会員、山下会員

*ロータリー財団

黒川会長 只井様、今日はよろしく！！
山田会員 岡部さんにお会いして来ました。お元気でした。
木下健治会員 只井委員長、よろしくお願ひ致します。
コメント無 山下会員、高尾会員、渡邊会員、藤田会員

*米山記念奨学会

黒川会長 東京に着いたのは夜中の1:30。
松田会員 只井様、よろしくお願ひします。
木下健治会員 今日は小泉進次郎の講演会でした。
コメント無 わかりやすく本質をついていたので、好感が持てました。
西本会員、山下会員、高尾会員、小山会員、藤田会員、渡邊会員

*ラオス基金

黒川会長 ラオスは暑い！！
藤田会員 今週末も天候に注意ですね。
コメント無 西本会員、山下会員、相原会員

*メイプル基金

黒川会長 寒いです！！
水島会員 只井委員長様、本日はよろしくお願ひします。
高尾会員 本日、会報担当です。
藤田会員 只井様、本日よろしくお願ひします。
コメント無 西本会員、山下会員

<編集後記・追加情報・ ちょっと一言・ライブラリー・etc>

(文責 高尾)

